

# 定 例 経 営 会 議 ・ 議 事 録

年 度	平成29年度	回 数	第4回
日 時	平成29年6月27日 午前9時30分～11時30分		
場 所	市長公室(本庁舎 3 階)		
出 席 者	渡部市長 荒井副市長 森教育長 南部議会事務局長心得 小林経営政策部長 東村総務部長 大西市民部長 平岡環境安全部長 山口健康福祉部長 野口子ども家庭部長 間野資源循環部長 粕谷まちづくり部長 野崎教育部長  欠席者:なし		
次 第	1. 開会  2. 協議事項 (1) 平成29年6月定例会を振り返って  3. 報告事項 (1) 『持続可能な東村山市経営』のための取り組みについて (2) 平成29年9月定例会提出予定案件・所信表明事項について (3) 平成28年度第2回定期監査指摘事項への対応及び第3回定期監査報告書について (4) 採用試験の受験状況について及び平成29年4月1日付新規採用職員の勤務状況等の評価について (5) 平成29年度職員表彰の審査結果について (6) オリ・パラ気運醸成 蘇州市交流事業について (7) その他  4. その他  5. 閉会		
会 議 経 過	次頁参照		



## 1. 開会(市長あいさつ)

- ・ 6月定例会お疲れ様でした。
- ・ 健康福祉部の案件で、生活保護、生活困窮者自立支援事業について、当市で不適切な対応が行われたと、今年の2月に国会で共産党の宮本徹衆議院議員から発言があり、経過については所信表明で述べた通りだが、国会の最終日、6月16日に大島衆議院議長宛に調査をしていただきたいという要請文をお渡しし、6月定例会終了した翌日の朝に、宮本徹議員に抗議文を送付し、同日記者会見を開いた。市としては、全く事実無根のことを国権の最高機関の場で発言されたうえ、事実確認で質問状をお送りしても、ご回答いただけないという事態については、今後も宮本徹議員に対して説明責任を果たしていただくよう、求めてまいりたい。
- ・ 先週の金曜日から都議会議員選挙が始まっている。選挙事務が遺漏なく行われるよう、各部各課から職員の応援をお願いをしているが万全を期していただきたい。
- ・ 今後の中長期的な財政見通しでは、極めて厳しい状況が予想される。全庁的な取り組みにより財政の危機を回避し、着実に未来に向かってまちづくりを進めていけるよう知恵を絞っていきたいと思う。

## 2. 協議事項

### (1) 平成29年6月定例会を振り返って

- ・ 平成29年6月定例会を振り返って、各部の所感や課題を共有した。

## 3. 報告事項

### (1) 『持続可能な東村山市経営』のための取り組みについて

- ・ 現時点での長期的な財政負担の見込みと、それを受け、持続可能な東村山市経営を進めるうえで、取り組むべき課題等について各部で情報の共有を行った。

### (2) 平成29年9月定例会提出予定案件・所信表明事項について

- ・ 市議会9月定例会提出予定案件等について確認した。

### (3) 平成28年度第2回定期監査指摘事項への対応及び平成28年度第3回定期監査報告書について

- ・ 平成28年度第2回定期監査の結果に基づき講じた措置について、監査委員より指摘事項があり、これに対して各所管で講じた措置の内容について報告を行った。また、第3回の

定期監査結果についても指摘事項があるので、今後各所管にて適切な措置を講じ、市長決裁を経て経営政策部で取りまとめて監査委員に報告する。

#### (4) 採用試験の受験状況について及び、平成29年4月1日付新規採用職員の勤務状況等の評価について

- ・今年度より、採用試験を3ヶ月早めた。一般事務の応募者については、昨年の259人から237人と減少したが、受験者は16人増え、受験率も10%近くアップした。4月の有効求人倍率が1.48で過去最高値ということもあり、民間企業に流れているだけでなく、人口減少による若者の絶対数が減っているということもあり、公務員の受験者数が全国的に減っている状況が背景にはある。
- ・今年の4月1日付採用職員の勤務状況について、例年通り評価を行う。入所後、六か月が経ち、今後について大事な中間期になる。評価について何か不安や懸念があれば、総務部へ連絡するよう、各所属長への指導願います。

#### (5) 平成29年度職員表彰の審査結果について

- ・平成29年度職員表彰式を7月21日午前11時から開催する。特別表彰は団体が14組、個人が9名。他に所管から要望があった2団体へ感謝状を贈る予定。

#### (6) オリ・パラ気運醸成 蘇州市交流事業について

- ・経営政策部、市民部、教育部の三部で連携し、中華人民共和国蘇州市との青少年交流事業を実現することを目標に調整をしてきたが、この度、公益財団法人日中友好会館の協力を得て、7月下旬に蘇州市から訪問団をお招きし交流事業が実現することとなった。詳細については、現在調整中であるが引き続き、全庁的な体制で、東京2020オリンピック・パラリンピック気運醸成並びに、人的・経済的・文化的な相互交流を進めていきたい。

#### (7) その他

- ・平成29年度第1回市センター地区整備構想検討会議を次回の経営会議終了後、7月11日に開催する。

## 4. その他

### 〈平成29年度東村山市インターンシップ学生実習生受け入れについて〉

- ・今年度は11大学から11名を受け入れる予定。これまでの5ヶ年の実績だが、延べ65名を受け入れてきたが、そのうち当市を受験したインターンシップ経験者は延べで25名。そのうち昨年までに3名の採用につながっている。

〈ゆう活（夏の生活スタイル改革）に伴う時差出勤制度の活用促進について〉

・ゆう活は昨年より導入したが、昨年は内閣府と総務省のモデルを参考に7月1日から8月31日までの2か月間だったが、今年は9月30日までの3か月間実施する。昨年の「ゆう活」の利用実績は、7月が35名、8月が40名、延べ75名の活用があった。ぜひ時間の有効活用と健康維持増進に積極的に活用いただきたい。

5. 閉会(副市長)

夏休み取得の期間が近づいてきたが、上手に活用しリフレッシュして欲しい。